さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE
ご自由に
お持ちください

Vol.59
令和4年度
3号

Contents

●病院長 年頭挨拶 …… P2-3
●診療科からのメッセージ …… P4
▶心療科　▶耳鼻咽喉科
●総合支援センター便り …… P5
●職員紹介 …… P6
●お仕事紹介コラム
▶視能訓練士 …… P7
●総合防火訓練 …… P8

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　さいたま赤十字病院
Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC528 号

病院長 年頭挨拶

令和５年１月　院長 清田 和也

年頭にあたり、ひとことご挨拶をさせていただきます。

昨年中も引き続き、新型コロナ感染症の影響のもと、特に3月からは一病棟を閉鎖した上での運営を余儀なくされており、患者さんや地域の医療機関の方々には大変なご迷惑をおかけしております。

その中でも外来、入院や地域の先生方からの紹介の人数についてはコロナ禍以前を超す状況となっており、皆様のご協力の賜物と感謝しております。

第７波最中の9月には外国人患者受入医療機関認証（JMIP）の更新受審を受けることができ 11 月に無事更新することができました。また、「救急の日」には救急医療功労医療機関の表彰を埼玉県知事より受けることができました。

昨年 11 月に本社より令和５～7年度にかかる中期事業計画が通知されました。

理念に基づき７つの基本方針がたてられています。

「私たち赤十字病院グループは、災害医療・救急医療・地域医療等の面から地域に貢献することを通じて、赤十字の理念の実践や赤十字思想の普及啓発に努めてまいります。」が理念であり、基本方針は以下の通りです。

① 安心・安全で質の高い医療の提供に努めます。
② 災害医療・国際活動の充実に努めます。
③ 公的医療機関として地域の医療・介護・福祉の連携に努めます。
④ 赤十字病院同士・各赤十字事業との連携の強化に努めます。
⑤ 職場環境の整備に努めます。
⑥ 人材の確保と育成に努めます。
⑦ 健全で安定的な経営基盤の構築に努めます。

その内で重点取り組み事項とされているものをピックアップしますと、がんゲノム、ロボティック医療、AI、医療 DX などの他にキーワードの一つは「第8次医療計画への対応」になっています。

「地域医療構想、働き方改革、医師偏在対策」の三位一体改革での取り組みを

少子高齢化が進み、働き手の不足が言われている2040年問題に向けて機能分化と連携推進により過不足のない効率的かつ持続可能な医療提供体制構築のため「地域医療構想、働き方改革、医師偏在対策」の三位一体改革での取り組みを更に加速させていなければなりません。

そのなかでも、医師の働き方改革の実施は来年に迫っております。診療科の特性により若干の相違はありますが、救急病態以外での就業時間内での病状説明や複数担当医制などについて皆様のご理解とご協力の程を宜しくお願いします。

外来機能の分化の観点から「紹介受診重点医療機関」の指定がはじまります。「地域医療支援病院」との違いが判りにくいなどの意見があるところですがデータに基づく外来機能報告制度により「医療資源を重点的に活用する外来」の機能を明確化するものとされております。当院もそれに該当するものと考えられますので、今まで以上にかかりつけの先生方との連携を推進していくことが求められています。

救急、周産期医療に加えて当院のもうひとつの柱である、がん診療についてですが、昨年に地域がん診療連携拠点病院等の要件が改正され、本年4月から改めて指定を受けることになっています。既に昨年より新たに埼玉県立がんセンターより緩和ケア専門の割田部長職務代理をお迎えしています。外来化学療法室は運用に多くの課題をかかえ、ご迷惑をおかけしていますが、4月より化学療法の専門医をお迎えすることになっており、更に体制の強化を図る予定です。また、放射線治療の体制も強化する予定です。

温暖化に代表される環境変化に伴う地球規模での自然災害の多発や、新興感染症の全世界への急速な拡大に対応できるように、災害救護体制の充実は日本赤十字社のみならずグローバルな課題と認識されています。2023 年は関東大震災から100 年を迎える年にあたります。また、東日本大震災から 12 年が巡りました。改めて災害対策については BCP（事業継続計画）の再点検を行い地域の医療機関との訓練も開催して参ります。

当院が開院したのは昭和 9 年であり、来年には90 周年を迎えます。5月15 日を永らく開院記念日（休診日）としていました。5月15日は院長を始めとした職員の任命日であり、実際には 7月3日に開院式7月6 日に内科、外科皮膚泌尿器科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科の 5 科で診療を開始したとされています。5 月はゴールデンウィークがあり長い休みの後に再び休日となる難がありました。開院記念日を実際に診療が開始された7月に移動することとしました。本年は 7 月 5 日（水）となりますのでお間違えのないように宜しくお願いします。

MESSAGE 診療科からのメッセージ

心療科（しんりょうか）

部長 三澤 仁

■コンサルテーションリエゾン活動を通じて地域の医療に貢献します

こんにちは。さいたま赤十字病院心療科です。今回は当科の診療内容、特徴についてご説明します。当院心療科は精神科としては小規模であり、コンサルテーションリエゾンにほぼ特化した診療内容を行っております。コンサルテーションリエゾン精神医学とは、身体科との連携を表す精神科の一領域で、具体的には、身体的な問題のある患者さんの精神科的な問題の対応、実際には当院の場合、ほぼ入院患者さんの対応となります。例としては、入院中の患者さんのせん妄の対応、救急科経由で依頼のある自殺企図の患者さんの対応、産婦人科経由で依頼のあるハイリスク妊産婦さんのメンタルヘルス、内科や外科など他の診療科から経由で依頼のある、がんや慢性疾患を持つ患者さんのメンタルヘルスなどとなります。また、一般病棟で対応困難な場合にはMPU(精神科身体合併症病棟)を利用することになります。

身体的な手術など入院加療の必要があるが、精神疾患もあり、精神科のない病院では受入が困難な場合、また一般病棟では対応困難な場合、MPUの利用が可能となりますが、入院には精神保健福祉法という独自の法律が適応になるため、その運用には家族の協力等が必要条件となります。利用を検討したい場合、もしくはよく分からない場合など一度当院医療連携課にご相談ください。

今後もこのようなコンサルテーションリエゾン活動を通じて地域の医療に貢献したいと思います。

耳鼻咽喉科（じびいんこうか）

部長 栗田 昭宏

■患者さんに寄り添った診療を

こんにちは。さいたま赤十字病院耳鼻咽喉科です。当科の診療内容と大切にしている理念をご紹介いたします。

耳鼻咽喉科は、風邪、鼻炎、中耳炎などを診ることが多いですが、耳、鼻、口、のど（咽頭・喉頭）、唾液腺、甲状腺、頸部疾患、めまい、顔面神経など、首から上の幅広い分野を扱います。また、感覚器（嗅覚、味覚、聴覚）やコミュニケーションに関する機能（発声、表情）を扱うことで生活の質に関わる分野ともいえます。

内科的な治療（咽頭炎、鼻炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺など）と外科的な治療（耳手術、鼻手術、扁桃摘出、声帯ポリープ、頸部腫瘤など）があり、どちらも積極的に行っています。最近新型コロナウイルス感染後遺症の治療としても有名となった上咽頭擦過療法が、頭痛、肩こり、後鼻漏（痰・咳）、鼻づまり、倦怠感などの様々な症状を劇的に改善することがわかり個人的に注目しています。

診療を行う上での理念としては、最適な治療方針は患者さんに十分に寄り添った上で導かれるものであり、検査所見、ガイドラインなどで画一的・一方的に決めないということです。また、外部の開業医の先生方や他の医療施設、院内からのご要望にはできる限り全力でお応えし、医療全体に貢献することを大切にしております。

総合支援センター便り

Vol.7

医療連携課

今回は当院の「紹介患者さんに関する統計」について報告させていただきます！

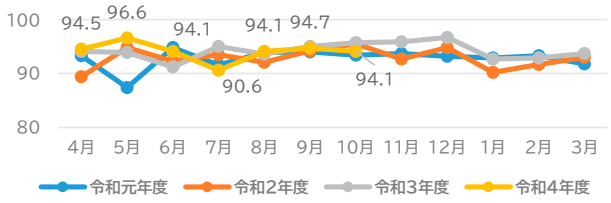
医療連携課長
角田　嘉夫

当院は地域医療支援病院（平成 23 年 8 月 29 日付承認）として地域のかかりつけ医の先生方からの紹介患者さんに対し専門的な治療や救急医療の提供を行っております。地域医療支援病院におきましては、紹介率（当院へ紹介いただいた患者数の割合）および逆紹介率（当院から紹介させていただいた患者数の割合）が一定の基準を満たしていることが承認要件のひとつであり、以下のグラフにて近年の状況をお示しいたします。紹介患者数におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は減少いたしましたが、今年度はほぼ感染拡大前の水準に戻ってきております。

今後とも当院はかかりつけ医の先生や地域の先生方との連携を推進して、患者さんが安心して治療できる地域作りに貢献していきます。引き続き当院の地域医療における機能と役割をご理解いただきたくお願いいたします。

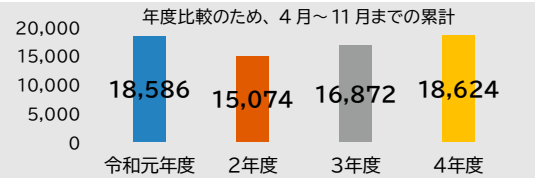
紹介率の推移

紹介患者数／〔初診患者数 ― (休日夜間受診患者数 ＋ 平日日中救急搬送患者数 ＋ 健診後受診患者数)〕



年度別紹介患者数

※紹介状をお持ちになって受診された全患者数となり、再診・複数科受診の患者さんも含むため紹介率算定用の数値とは異なります

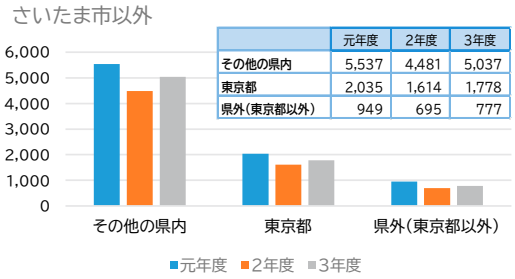


さいたま市内からの年度別紹介患者数の推移（令和元年度～令和3年度）

	元年度	2年度	3年度
大宮区	4,663	4,249	4,676
中央区	4,074	3,813	3,937
浦和区	2,966	2,525	2,896
北区	1,926	1,572	1,748
南区	1,129	1,070	1,134
見沼区	1,253	1,127	1,209
西区	1,000	832	927
桜区	559	530	549
緑区	442	299	390
岩槻区	386	339	362

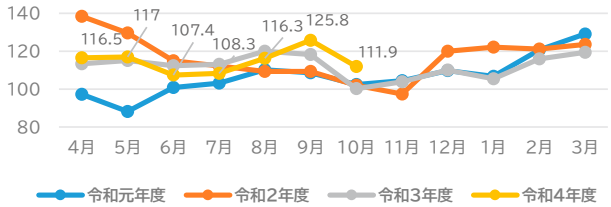
さいたま市以外

	元年度	2年度	3年度
その他の県内	5,537	4,481	5,037
東京都	2,035	1,614	1,778
県外(東京都以外)	949	695	777



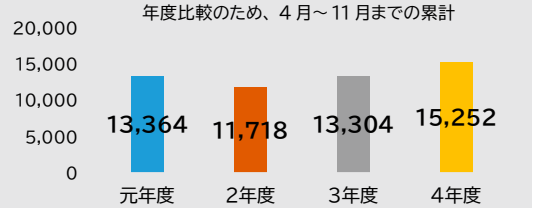
逆紹介率の推移

逆紹介患者数／〔初診患者数 ― (休日夜間受診患者数 ＋ 平日日中救急搬送患者数 ＋ 健診後受診患者数)〕



年度別逆紹介患者数

※宛名ありの診療情報提供書を発行した患者数となり、逆紹介率算定の件数となります



● 登録医療機関の検索について

当院ホームページもしくは右記 QR コードからアクセスしてください

かがやき Vol.59　5

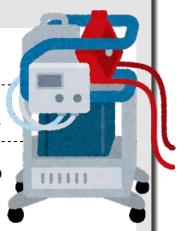
医学と工学の知識を併せ持つ医療機器のスペシャリスト 臨床工学技士（CE）です。

最近では、新型コロナウイルス感染症下における人工呼吸器やECMO血液浄化装置を操作する医療従事者としても話題になっています。

医療技術の進歩に伴い、医療機器はより高度に複雑になっており、それを用いた手術や治療を円滑に進められるようチーム医療を支えています。

業務内容

当院の臨床工学技士は、医療機器の管理、病院内のいろいろな医療機器の操作を行っております。



メンテナンス業務	院内の多くの医療機器のメンテナンス
人工心肺業務	心臓の手術中、心臓と肺の代わりを務める装置を操作、管理
血液浄化業務	腎不全の患者さんと関わりながら、腎臓の機能を代行する人工透析装置を操作、管理
呼吸療法業務	十分な呼吸ができない患者さんに装置を装着し、呼吸を補助、代行する
高気圧酸素療法業務	高い気圧の環境下で酸素を吸入させることで、血液中の酸素を増やす治療の装置の操作、管理
心血管カテーテル業務	心臓病の診断をするための検査および治療の一連の記録、検査室内の機器の操作
ペースメーカー/ICD 業務	不整脈に苦しむ患者さんのためにペースメーカーや ICD を身体に植え込む手術の介助や患者の管理

「臨床工学技士」と聞いたとき、どのような印象を持つでしょうか？

一般的には**「工学＝エンジニア」**というところから男性的なイメージを持たれる方も多いのではないでしょうか？確かに**全国的に男女比３：1。**理由としては工学系の分野に興味のある人には男性が多いからでしょう。臨床工学技士は業務上突然の残業が発生することもあり、オンコールや夜勤など育児をしながらフルタイムで働くことが難しい場合もあります。しかし、幅広い業務があるため働き方によっては女性でも働きやすい環境にもなり得ます。しかも、臨床工学技士は機器だけではなく患者さんとの関わりも大切な職務です。**大きな医療機器を目の前にして不安になってしまう患者さんに声かけをしたり不安を取り除いたり、若い女性の患者さんへの配慮もできます。**

私自身、当院初の女性臨床工学技士のため、結婚、出産、育児休暇取得もすべて初めての経験でした。育休の取得を望む側は発言しづらく、管理者側も快諾はしたいが人員的余裕はないなど、お互いに葛藤があったかと思います。しかし現在までフルタイムで働くことができたのは、理解ある職場の方々と周囲のサポートによって築かれた職場環境そして臨床工学技士という職業が多方面からの専門性の分野に分かれていることが大きいと思っています。

ペースメーカー外来の準備

現在では、皆と変わらず夜勤やオンコールにも対応しています。そして女性だけではなく男性も育休を取得しています。各々の技士が日々業務に邁進しながらも、互いにサポートしあえる環境を維持する事が、現在の私の目標です。

臨床工学技術課　**鈴木 綾子**

お仕事紹介コラム

視能訓練士

皆さんは眼科に行ったことがありますか？もし行かれたことがあったとしてもどんな人が視能訓練士なのか？そもそも視能訓練士って何をしているのかが判らない方がほとんどかと思います。そこで今回は我々視能訓練士がどのようなことを普段行っているかについて紹介していきたいと思います。

❶視機能検査

人間の眼は直径でほぼ 10 円玉と同じくらいの大きさと、小さいですがとても複雑で大切な器官のため多くの検査があります。視力・眼圧・視野検査・眼底写真撮影などの様々な眼科一般検査の他に、正確な手術を行うための術前検査なども行っております。

❷視能矯正

小児における弱視や斜視に対して、視力の向上や正常な両眼視機能の獲得を目指して視能訓練を行います。しかしながら現在少子化による小児の減少、また当院の特性上小児に対しての訓練を行っていないため、近隣の病院と連携して斜視・弱視に対し診療を行っております。

❸ロービジョンケア

疾患や怪我によって「見えにくい」「まぶしい」「見える範囲が狭い」など日常生活で不自由をきたしている状態をロービジョンと呼んでいます。ロービジョンの方々の見え方はそれぞれで、日常生活における不便なこともそれぞれ異なります。当院では月に一度ロービジョンルームからスタッフを招いてそれぞれにあった補助具をご提案させていただいております。

❹検診業務

保健センターなどで行われる
3 歳児検診・就学時検診や各団体で行われる生活習慣病予防検診などから要請があれば参加することがあります。

以上のように視機能のスペシャリストとして、乳幼児からご高齢の方まで世代を超えて皆様の大切な目の健康を守るお手伝いをしております。

人間は情報の約 8 割を目から得ているといわれます。そのため「見えること」は生活の質を大きく左右します。

現在日本では高齢化・長寿化により加齢に伴う疾患が増えています。また若い世代でも慢性疾患に悩む患者さんは年々増えています。

このように幼少から青年期、老年期に至るまで目の健康に寄り添う眼科や視能訓練士に対する必要性は今後も増えていくものと思われます。

視能訓練士　**加藤 善仁**

総合防火訓練の実施について

令和4年 12 月 14 日にさいたま市中央消防署立会いの下、総合防火訓練を実施しました。

病院は年2回以上の防火訓練の実施が義務付けられています。

当院では、消火器や消火栓、避難袋などの使い方を学ぶ部分防火訓練と火災発見から通報・初期消火・避難誘導など火災時の初期対応を確認する総合防火訓練を行っております。

今回の総合防火訓練では、「当院の自衛消防活動について知る」を目的に訓練を実施しました。自衛消防活動とは、火災等が発生した際、消防隊が到着するまでの間、初期消火や避難誘導、応急救護などを行い被害を最小限にとどめる活動のことです。

訓練では地下1階の倉庫を出火元と想定し、火災発見から防災センターへの通報、消火器および消火栓による初期消火、1階への避難誘導、防火区画の形成などを訓練しました。また、夜間の勤務者が少ない状況を想定した訓練も同日に実施しました。

参加者からは「非常口は普段通らないので、知れて良かった」、「色々な職員に経験させたいと思った」、「自分の役割がわかりにくかった」などの意見がありました。これらの意見は、今後の防火訓練や防火マニュアルに反映していく予定です。

最後に、火災は初期対応が非常に大切です。万が一の際は迅速に対応できるよう引き続き訓練を行って参ります。

施設課 髙橋 和幹

さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 健康経営を推進し、働きやすく活気あふれる職場作りに努めます。
6. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報が保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないように行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。

かがやき（通巻 59 号） 発行元 さいたま赤十字病院
〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5
TEL 048-852-1111（代） 編集 広報委員会
ホームページ http://www.saitama-med.jrc.or.jp/